

育 て た い

子 ど も 像

人として大切な心と21世紀の社会を生き抜く力を持ち
ふるさと“ぶぜん”を愛する子ども

○自分の命、他の人の命を大切にする子ども

○21世紀の社会を生き抜く、確かな力を持つ子ども

○ふるさと“ぶぜん”を知り、大切にする子ども

チャレンジ！ぶぜんっ子7か条！

☆友達やまわりの人のよさを見つけます！

☆笑顔で「おはよう」素直に「ありがとう」と
「ごめんなさい」を言います！

☆なりたい自分に向かって、
あきらめないでチャレンジします！

☆「なぜ」「どうして」を大事に、進んで調べたり考えたり
します！

☆ふるさと“ぶぜん”の特色や
よさを見つけて大切にします！

☆みんなのまち“ぶぜん”のために、今できることを
がんばります！

☆わたしの目標は、

5年 【 】

6年 【 】

中1年 【 】

中2年 【 】

中3年 【 】です！

目次（小学校5年生～中学校3年生）

★チャレンジ！ぶぜんっ子7か条

★家庭学習Q&A…………… 2

- どうして家庭学習をしないといけないの？
- 家庭学習に計画表って必要なの？
- 自主学習ってどんなことをすればよいの？
- 定期考査の前は、どんな勉強をすればよいの？
- 先輩たちの家庭学習方法の紹介



★家庭学習のポイント…………… 8

国語／社会／算数・数学／理科／外国語（英語）

★自主学習ノートの紹介……………18

★保護者の方へ…………… 19

★ぶぜんっ子を育てる大人7か条

★資料編（もっと、もっとチャレンジ）



Q どうして家庭学習をしないといけないの？

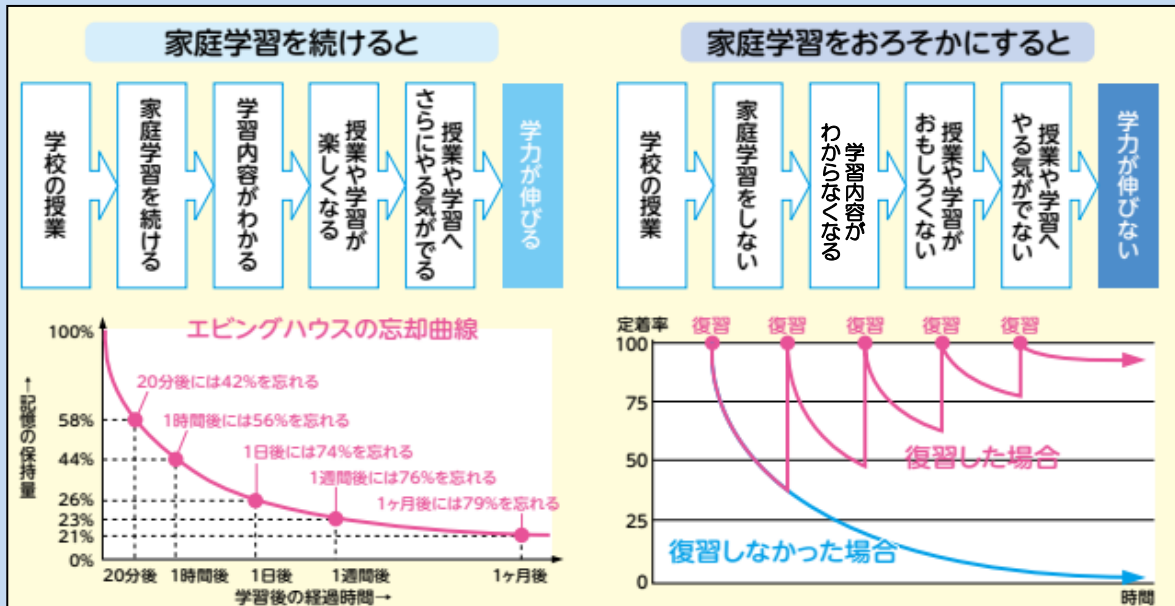
A 学校の授業で身に付けた内容を復習したり、繰り返して練習したりすることで学習内容が定着していくからです。

★ここがポイント！

★ 目標をもち、計画的に学習する習慣を身に付けよう！

- 宿題のほかに復習・予習をしましょう。
- 興味・関心のあることを追究する自主的な勉強にも取り組みましょう。
- 時間を有効に使って勉強しましょう。与えられた課題や宿題をこなす学習から、自分で目標を設定し、それに向けて取り組む学習へと進んでいきましょう。

★ 毎日、学習をこつこつと続けて、学力を向上させよう！



復習をしないと、学校の授業で身に付けた学習内容を忘れてしまいます。ドイツの心理学者「ヘルマン・エビングハウス」の記憶の実験から、「家庭学習を続けると、『忘れる量を減らす』ことや、『記憶している期間を伸ばす』ことができる。」と言われています。

学校の授業で身に付けた内容を復習したり、繰り返して練習したりすることで学習内容が定着します。つまり、学校の授業と家庭学習の両方がとても大切です。

Q 家庭学習に計画表って必要なの？

A 計画は立てていても、なかなかその通りにはいかないものです。まして、無計画だったら、時間をむだに過ごしてしまいがちです。時間を有効に使うためにも、計画は必要です。

★ここがポイント！

★家庭学習の計画の立て方

1日の生活のスケジュールを立てよう。

- 毎日必ず、自分で決めた場所で学習することを習慣化しましょう。
- あまり細かく時間を区切らず、ゆとりのある計画を立てて、生活のリズムを作ることを目指しましょう。
- 部活動や塾などのある日とない日で、別々のスケジュールを立てましょう。

★1日のスケジュール表(中学校の例)

部活や習い事のある日

16:30	19:00	21:00	23:00
部活動・習い事	帰宅 夕食入浴等	宿題 授業の復習	就寝

まず宿題から取りかかろう。

その日に習ったことを振り返ろう。

部活や習い事のない日

16:30	18:00	18:30	19:00	20:00	23:00
帰宅 学校の宿題	入浴	夕食	休憩 読書等	授業の復習 自主学習	就寝

リフレッシュする時間も大切です。

帰宅直後の短い時間も有効に活用しよう。

苦手教科やまとめの学習にじっくり取り組もう

部活動のない日は、ダラダラ過ごしがちだったけれど計画を立てることで1日のリズムができ、時間を有効に使うことができるようになったよ。復習の習慣が付いたことで、授業がよくわかるようになり、やる気がグーンとアップしたよ。



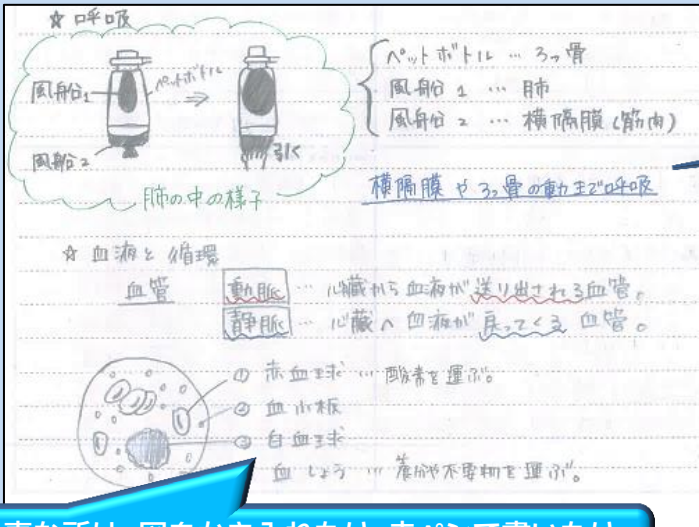
Q 自主学習ってどんなことをすればよいの？



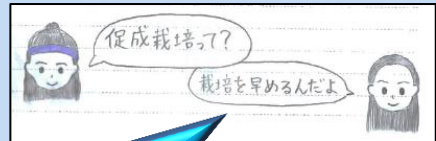
A まずは、自主学習ノートを作って、「時間いっぱい1ページ以上」取り組んでみませんか？例えば、こんなふうにします。

★ここがポイント！

①まず、授業で習ったことは、その日のうちに復習します。



絵や図にかいてみると、よくわかるよ。



自分でキャラクターやきまりをつくってわかりやすくまとめるのもいいよ。

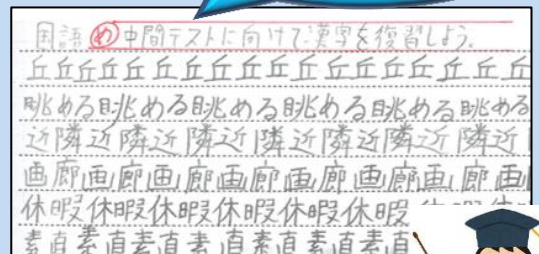
大事な所は、図をかき入れたり、赤ペンで書いたり、線を引いたりしよう。

定期考査に向けて
目標をたてる。

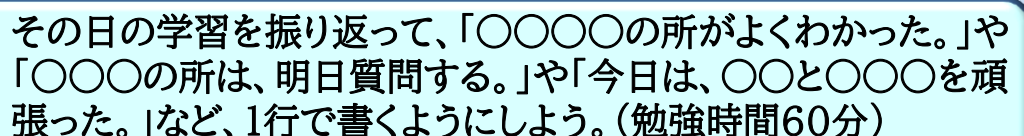
②次に、自分で内容を決めて勉強します。



英単語を1日10個、
発音しながら書いて覚える。



③その日の家庭学習を振り返りましょう。



Q 定期考査(テスト)の前は、どんな勉強をすればよいの？

A

定期考査(テスト)の範囲を確認して、学校で学習したことを、計画的に復習しましょう。

★ここがポイント！

★教科書やワーク・プリントを中心に！

定期考査(テスト)は、日頃の学校の授業の内容をどれだけ理解しているか。また、学習したことを利用して、問題を解くことができるようになったかをみます。

まず、教科書を中心に、授業で使っているワークや学習プリントをわかるまで、解けるようになるまで調べたり、繰り返し練習したりすることが重要です。さらに、余裕がある人は、試験範囲に関連する問題集などを解いて、いろいろな問題にチャレンジするとよいでしょう。

★計画を立て、早めに取りかかろう！

テスト範囲は、前回の定期考査以降の学習が中心です。10日から2週間前には範囲表が配られます。定期考査用の計画を早めに立てましょう。

★計画を立てるときのポイント！

その 1	計画表づくり からスタート	まずは、テストまでの2週間の教科の計画を立てます。その計画にそって、教科ごとの細かい計画を立てていきます。テストの範囲を最低2回以上は復習できるような計画を立てましょう。
その 2	現実的な計画を	部活や習い事などある人は、特によく考えて、現実的な計画を立てましょう。そして、初めのうちは、少し余裕があるぐらいがいいでしょう。張り切りすぎて中途半端に終わると何にもなりません。
その 3	軌道修正をこま めに	計画を立てたら、計画通り実行することが最も大事なことです。でも、実際やってみると無理なところや簡単なところが出てきます。そんなときは、計画にあまりこだわらずに、もう一度計画を練り直しましょう。

テストは終わってからも大切です。
返されたテストを利用して、自分のできていないところや理解できていないところを見直しましょう。そこが自分の弱点です。テスト後に弱点をなくすことで、実力が2倍にも3倍にも伸ばせます。



先輩たちの家庭学習方法の紹介【小5～中3用】



① 漢字は繰り返し書いて覚えよう(国語)

- ①わからなかった漢字や間違えた漢字は、ノートに何度も書き写して覚えます。数日後、再度挑戦してみて、正しく書けるか確かめます。正しく書けない漢字は、再度、ノートで練習します。
- ②本や新聞を読んで、長い文章に慣れていくようにします。文章問題は、文章の中に答えやキーワードが隠されていることが多いので、よく読むようにします。

《私の工夫》

- ★漢字は、繰り返し練習することがポイントだと思います。繰り返すことで、頭と手が覚えてくれます。
- ★文章問題に取り組む時は、最初に問題を読んでおくことをおすすめします。問題を意識して文章を読んだ方が、効率的に解くことができます。

② 用語集を活用しよう(社会)

- ①わからない用語が出てきたら、用語集で調べます。
- ②ワークの問題でわからないところがあったら、教科書や地図帳で調べます。
- ③テストの後で、できなかった問題を、できるまで復習します。

《私の工夫》

- ★歴史に興味がわくように、大河ドラマなどに出てくる人物を取り上げた本を読むようにしています。
- ★覚えなくてはいけないところに、マーカーで下線をつけています。憲法の条文などを覚えるために、カラーペンでノートに写して、何度も口に出して暗唱しています。
- ★用語集が便利なので、できれば買った方がよいと思います。

③ ワークを解いて、苦手なところをみつけよう(数学)

- ①解答と自分のやり方を比べて、なぜ間違ったのか調べます。
- ②解答を見ながら、解き直しをします。
- ③難しくて嫌になってしまったら、先生や友達に聞いて教えてもらいます。

《私の工夫》

- ★間違えたところに、矢印や吹き出し、※印などで、「位取りに注意！」とか「単位に注意！」など、メモしておく、次に見たときに、確認しやすく、時間も短縮できるのでおすすめです。
- ★公式を覚えておくと、だいたいの問題が解けます。私は、公式をつぶやきながら、問題を解くようにしています。

④ 覚える！使える！の2ステップが大切(理科)

- ①理科は、物理、生物、化学、地学の4つの分野に分けられます。私は、自分の苦手な分野を中心に学習します。
- ②用語などを覚えるだけで終わらず、その用語を使って説明することができるようにすることが大切です。家庭学習の中でも、説明する問題にも積極的に取り組み、実際に使えるようにします。

《私の工夫》

- ★物理や化学は実際に目で見ることが難しいので、図やモデルで考えれば、わかりやすくなります。
- ★教科書などを読んでもわかりづらいところは、映像メディアを利用するのもおすすめです。

⑤ 毎日、英語を聞く。単語は、書いて覚える(英語)

- ①毎日英語を聞くことがおすすめです。1日5分でもいいので、英語を聞いて耳を慣らし、正しい発音を覚えるようにします。ラジオなどでも放送されています。
- ②単語帳を作って、意味や発音を何度も確認します。つづりが覚えられない単語は、口で発音しながら、ひたすら紙に書いて覚えます。
- ③英作文は、自分の書ける範囲で、なるべく簡単な表現で書きます。このとき、単語や英文法も確認していくようにします。

《私の工夫》

- ★長文を訳すときは、接続詞(when, if, becauseなど)やコンマ(,)のところにスラッシュ(/)を入れて、分けて訳します。

(例) I think / that Ken will help me / because he is kind.

私は思う / ケンは私を手伝ってくれる / なぜなら、彼は優しいから

《部活動と勉強の両立》

部活動に入ると、正直、疲れるし、帰宅時間も遅くなるので、家庭学習の時間を確保することが難しくなります。私の場合は、平日は多くて1時間30分程度が、やっとでした。学校の宿題を終えた後、授業の復習を徹底して行いました。定期考査前は部活動も休みになるので、この時間を有効に活用して勉強しました。私は、スマホを触りながらとか、動画を見ながらの勉強はしませんでした。このやり方は集中力が切れやすく、頭に入ってきません。スマホを触りたくなる気持ちは十分にわかります。ですから、私は、独自の勉強方法を作りました。と言っても、すごくシンプルです。50分のタイマーをかけて勉強し、終わったら10分のタイマーをかけて休憩するというパターンを数セット行うのです。土日は8セット行いました。部活に一生懸命になることはとても大切です。私は、部活と勉強の切り替えを大切にしっかり行っています。

① 教科書を音読しよう

- いん しいか 韻文(詩歌)や古文は暗唱できるまで、何度も繰り返し音読しましょう。
- 文学的文章は場面、説明的文章は段落、それぞれの区切りを意識して音読しましょう。
- すらすらと、間違えずに音読練習をしましょう。

めざすのは黙読上手！
速くすらすら音読することは、じつは黙読の練習になっているのです。



② その日の授業のノートやプリント類を見直そう

- その日の授業内容を振り返り、もう一度読み直し、書き込みながら復習しましょう。
- わからない言葉、あいまいな語句がでてきたら辞書で確かめましょう。
 - 文学的文章は辞書を引く前に、自分なりに意味を推測しましょう。(読解力を伸ばすコツです。)

③ 読書をしよう(活字に親しもう)

- 教科書の読書コーナーを参考に、質のよい本を読みましょう。
- 本を読む時間がとれない時は、新聞や市の広報誌など、身近にある活字を読みましょう。短時間でかまわないので、毎日続けましょう。(習慣化が大切です。)
- 新聞のコラムを視写することはよい学習になります。
 - 書き写すだけでなく、自分なりにタイトルをつけてみましょう。(要約する力がつきます。)



④ 家庭学習で心がけておきたいこと

- 話し上手・聞き上手をめざそう。
 - 家の人に話すときにも、「家族だから、言わなくてもわかるはず」ではなく、相手や目的意識をもって、何を伝えたいのか、どうやって伝えるのかなど、ポイントを押さえた話し方・聞き方をする習慣をつけましょう。
- 家庭学習ノートを作って取り組もう。
 - 漢字を何回も書くだけでなく、短文を作って書くなどパターンや内容を変えて、自分なりに工夫しましょう。

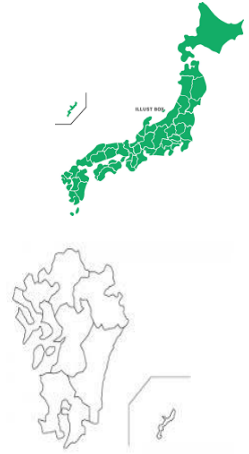
定期考査前後にこれだけはやってみよう！

- ①新出漢字をチェックしよう。
 - 語の意味、音訓にも注意してノートに書いて覚えましょう。
- ②問題に慣れよう。
 - 読む力を問う問題は、ワークブックや問題集に様々な種類の問題が載っているので、数多く解いてみましょう。
とくに記述式は解答例を参考に、答え方(書き方)に慣れましょう。
(実力テストや高校入試対策に効果的です。)
- ③授業中のノートをチェックしよう。
 - 授業中に大切だと思った箇所をマークし、書き抜きましょう。
(日頃から黒板の内容を書き写すだけでなく、気づいたことや考えたことをメモしておきます。)
- ④テストが返ってきたら、必ず復習しよう。
 - 点数に一喜一憂するのではなく、どうして間違えたのか、なぜ間違えたのか、冷静に振り返ることで学習内容が確実に身につきます。



地理

- 「地図帳」で調べる習慣をつけよう。
 - 地図帳を手元に置いておき、テレビを見ていて、わからない地名や国名が出てくれば、すぐに調べるようにしましょう。また、世界地図や日本地図を、いつも見られる場所に貼っておくようにしましょう。
- 白地図を利用してまとめよう。
 - ノートに白地図をかき、授業で習った重要語句をどんどんかき込むようにしましょう。



歴史

- どの時代のことなのかが判断できるように時代の特徴を大まかにつかもう。
 - 単元で登場する重要語句を関連づけてマップを作り、それをもとにその時代の特徴を短い文でまとめられるようにしましょう。
例えば、『中世』は「貴族にかわって武士が力を持つようになった時代」「民衆が成長した時代」というようにまとめることで、各時代の政治・文化・社会の特徴をつかむことができるようになります。
その結果、ある出来事がどの時代のことなのかを判断することができるようになります。
- つながりを考えてまとめよう。
 - 出来事には、必ず原因があります。年号や語句を単純に丸暗記するのではなく、「なぜ起こったのか(原因や背景)」「その結果どうなったのか(影響)」を関連づけて、つながりがわかるようにまとめると、歴史の流れをつかむことができます。

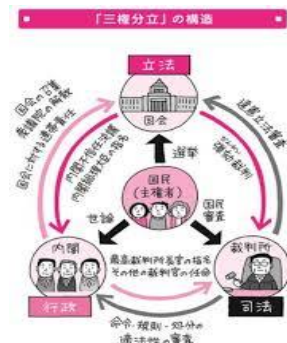


公 民

- 新聞やニュースに興味を持とう。
 - 公民は社会のしくみを学ぶ学習です。教科書に載っている内容が、実際の出来事として新聞やニュースに毎日のように登場します。新聞やニュースの出来事を、教科書と照らし合わせて考えていくと、政治や法、経済のしくみについて、理解が深まっていきます。



- 模式図で整理してまとめよう。
 - 国会、内閣、裁判所の関係や経済を動かすしくみなど、文章ではわかりにくいことも図で表すことで、つながりがはっきりとし、頭に入りやすくなります。



やってみよう！

- 世界旅行のツアープランを立ててみよう。
 - 行ってみたい国や都市を世界地図に書き込み、線で結び、世界1周の旅行プランを考えてみましょう。



- 社会の出来事について家族で話し合おう。
 - 新聞やニュースで見た出来事について、「自分はどうか考えるか」「これからどうすれば良いと思うか」など、家族で意見を交換しあうと理解が深まります。

① まずは、授業の復習に取り組もう！

- ノートや教科書を見ながら、授業で解いた問題に再チャレンジします。ワークや問題集などの同じような問題で練習します。
- まちがった問題があったら、途中の式や答えを消しゴムで消さずに、解き直しをします。「なぜ、間違ったのか」を、赤ペンでメモしておく、テスト前の学習に役立ちます。
- 間違った問題は、2、3日後に再度チャレンジしてみます。繰り返しの練習で、同じ間違いをすることがなくなります。
- 解き方がわからない問題は、解答を見ながら考えます。それでも、理解できないときは、先生に質問します。
- ワークや問題集は、A問題(基本)とB問題(応用)に分かれていることが多いので、最低でもA問題(基本)は、やり遂げましょう。



★問題に取り組んだノートの例(中2)

「どこで間違ったのか？」がわかるように工夫しましょう。

教科書P26(問4)

$$\begin{aligned} \textcircled{6} \quad 7x^2 \div \left(-\frac{7}{4}x\right) &= 7x^2 \times \left(-\frac{4}{7}x\right) \\ &= -4x^3 \end{aligned}$$

← 逆数にするときは、
文字がそのままでは
いけない。

$$\textcircled{6} \quad 7x^2 \div \left(-\frac{7}{4}x\right) = 7x^2 \div \left(-\frac{7x}{4}\right)$$

← 最初に、xを分子に！

$$\begin{aligned} &= 7x^2 \times \left(-\frac{4}{7x}\right) \\ &= -4x \end{aligned}$$

文字の約分に
注意する！

← そのあとで、
分母と分子を入れ替え、
逆数にする。

② 予習をすれば、授業がわかりやすくなる！

★教科書を使って、予習をしましょう。

- 次の授業のイメージづくり
 - 教科書を読んで、次の授業ではどんな学習をするのかイメージしましょう。授業は、各時間、教科書2ページくらい進んでいきます。
- 疑問点にチェック
 - 新しく出てきた用語(方程式、関数、平方根...)の意味、よくわからない内容などをチェックしておき、授業で確認したり、質問したりして理解できるようにしましょう。
- 例題にチャレンジ
 - 例題には、解き方が書かれています。その解き方にそって、自分で解いてみましょう。

★疑問点を教科書にメモしておこう！

《例題》小5
42.195 kmを10倍、100倍、1000倍した長さを調べましょう。
(答) 421.95 4219.5 42195

《疑問点のメモ例》
小数点は、いつも右に動くのかな。
何か決まりがあるのかな？ その理由は？

《例題》中1
3つの数 0、-3、+1の大小を、不等号を使って表しなさい。
(答) $-3 < 0 < +1$
または、 $+1 > 0 > -3$

《疑問点のメモ例》
 $0 > -3 < +1$ では、ダメなの？
その理由は？



算数・数学を得意教科にするためのポイント！

- 小学校のうちに、整数や分数の加減乗除(たし算、ひき算、かけ算、わり算)の練習をしっかり行っておきましょう。
- 中学校では、正の数・負の数の計算や方程式を解くことが、正確に速くできるようにしましょう。
- 「自分の考えを、式や図、表、グラフを使って、説明すること」に慣れていきましょう。何度も練習していけば、よりよい説明の仕方が身につきます。



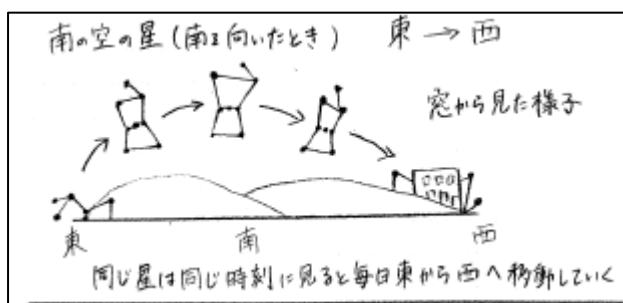
① 身近な現象を観察しよう！

- 理科の学習では、身のまわりの事象(植物や動物などの生物、天気や星、地震や火山活動、光や音など)から、『なぜだろう？』『どうしてだろう？』といった疑問をもつことが大切です。そして、その疑問を解決する方法や内容について調べたり、観察したりすることが大切です。

日頃からできる身のまわりの事象の観察例を紹介します。

星の動きについての観察では、自分の家の窓から見える星(一番観察しやすい明るい星など)の位置を、毎日決まった時間に記録することで、星の動きについて学習することができます。

星の観察記録ノート(例)



身近な現象の観察は、理科の学習で習ったことが、実際に身のまわりで起きていることを確かめるうえでとても大切なことです。

② サブノート(家庭学習用)をつくろう！

- サブ(家庭学習用)ノートづくりをやってみましょう。

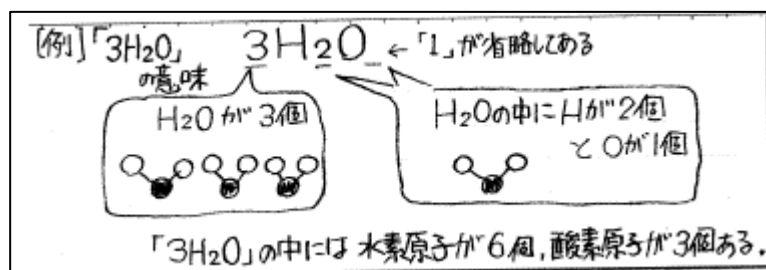
サブノートの書き方は、ノートの左側に学校の先生が授業中に黒板に書いて説明した内容を書き、右側には担当の先生が授業の中で特に強調した内容や授業中の自分の疑問点、それについて調べたこと、用語の意味などを書くようにしてみましょう。
板書内容の“丸写し”にならないよう、自分なりに工夫してサブノートをつくってみましょう。



③ 理科の用語を正しく使おう！

- 理科の用語を正しく読める、書けるようにして、正確に覚えましょう。
用語は何度も繰り返し読み、意味が自分の口で言えるまで練習します。
自分で考えても意味がわからないときは先生に質問したり、詳しい参考書を見て調べたりしましょう。友だちに「読み方」を言ってもらって、書くことができるか確認し合うのも、覚えるためのポイントです。
用語だけではなく絵や図を使うと効果的です。
また、目に見えない働きや現象は、自分で考えたモデル図を使うと、自分の考えがはっきりします。

化学式の意味をまとめたノート(例)



学習したことを、科学的な用語を使って考えたり説明したりすることは、理科の学力をつけるのにとっても大切なことです。日頃からこのことを意識してチャレンジすることで、科学的な見方や考え方が深まるでしょう。

やってみよう！「キラキラ輝く結晶を作ろう！」

- 食塩の結晶を作しましょう。
- とけ残りが出るまで水にとかしたら結晶づくりスタート！！
- ミョウバンの結晶を作る時は、温度変化が大きくならないように、発泡スチロールの箱の中などで、ゆっくり結晶を育てましょう。

① 自分だけの英語ノートを作ろう！

★予習をしよう(下のイラストの緑色の部分)

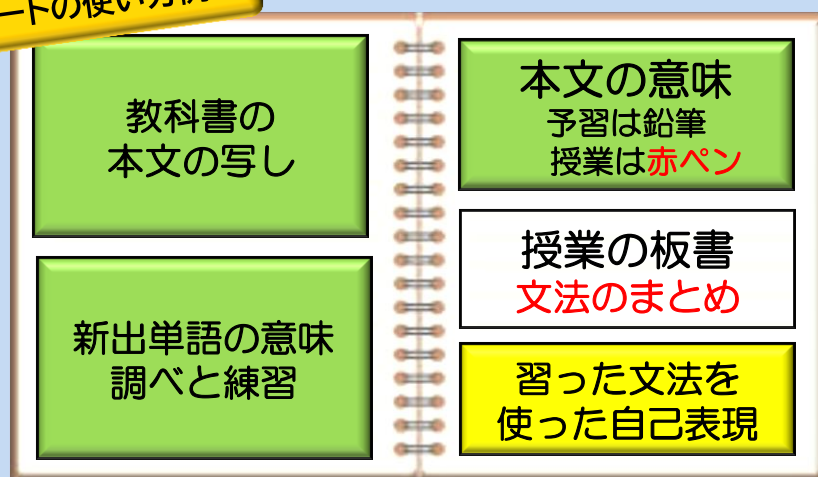
- 教科書の本文をノートに写しましょう。
- 新出語句の意味調べと練習をしましょう。
- 本文の意味を予想して書きましょう。
正しい訳は授業中に確認して赤ペンで訂正しましょう。



★復習をしよう(下のイラストの黄色の部分)

- 教科書の本文を、アクセントやイントネーション、間の取り方に気をつけて、声に出して読みましょう。
⇒音読を続けていると、リスニングの力もアップします。
- 予習で考えた自分の訳と授業中に習った訳を比べてみましょう。
⇒訳す時のコツが掴めます。
- 習った表現を使って、自分のことや身の回りのことを英語で、表現してみましょう。
⇒英語での表現力がアップします。

ノートの使い方例



② たくさん問題を解いてみよう！

★授業の復習がすんだら、問題を解いてみよう。

- まずは、学校で使っている問題集で力試しをしよう。
⇒わからない問題は、次の日に先生に聞きましょう！
- 簡単な問題から、徐々に難しい問題へチャレンジ。
⇒問題を解くことで理解が定着しますよ！
⇒自信がついたら、過去の入試問題にもチャレンジしましょう！



③ 英語が上達するコツは？



★英語の音に慣れよう！

- テレビ英会話やラジオ英会話を継続して聞き、英語の音に慣れよう。
⇒まるでシャワーを浴びるように、たくさん聞きましょう。
- 英語の歌を歌おう。学校で習った歌や昔の英語の曲は聞き取りやすいので、繰り返し聞いて英語のリズムを身につけましょう。
⇒中学生の英語力でも歌えるものが多いですよ。
- ALTの先生に英語で話しかけてみましょう。
⇒間違いを恐れずに、習った英語を使ってどんどんALTの先生と話をしましょう。最初は単語だけでもOK！



やってみよう！



- どんどん辞書を引こう！英和・和英があります。「へえ！」「なるほど！」と新しい発見があります。
- 英文で日記を書こう！
日付、天気、出来事、感じたことを習った英文で書きましょう。



自主学習ノートの紹介

自主学習ノートを作って家庭学習をしている友達のノートの紹介です。「どんなノートがよいか」、「どんなことをノートにまとめているのか」、「どんなふうに学習をしているのか」などを参考にして、自分で工夫して使いやすい自主学習ノートを作ってみましょう。

★ここがポイント！

★復習を効果的にしよう！

その日の授業で習ったことを、大切なポイントごとにまとめて、自主学習ノートに自分なりに整理しなおすと、理解が深まります。このノートは社会地理の中国・四国地方の農業の特色についてまとめたものです。とても見やすいノートですね。

このノートは期末考査の英語で間違えたところを丁寧にやり直しています。

【自主ノート】 **社会** (30行)

中国・四国地方の農業の特色をつかもう。
※ 瀬戸内の果樹栽培と全国展開
上位3県
和歌山県、愛媛県、静岡県
かんきつ類の栽培に適した条件
地形や土 気候
水はけ ○ あたたかい 17℃
日あたり ○ 日照時間が長い
山の斜面 降水量が少ない

出荷時期が長いかんきつ類
デコポン
温州みかん
いろいろな種類 × 品種改良
出荷時期をずらす

東京の市場での取扱量のうち、高知県産のなすの割合が高いのは 10月～6月
この時期に出荷するメリットは？
・他の県のなすが少なく高く売れる。

夏が旬のなすをこの時期に出荷できるのはなぜ？
・温暖な気候を利用して 促成栽培が行われるから。

どんな工夫をしているのかな？

期末テストでまちがえたところを
【自主ノート】(英語) ふくむ英文 (30行)

I think that Meiling speaks good Japanese.
Tom and Mike saw a hawk two weeks ago.
What was Paul doing at that time?
I wrote a letter to my grandmother.
Lisa was using the computer at ten last night.
Koji and Tom were talking on the phone at eight last night.
The students are going to clean the park next Sunday.
Is Emma going to join the music club?
No, she isn't.
When your father went there, Mr McGregor caught him and put him in a pie.
I studied math.

かいけるところまでかいています。
Very good!!

★楽しく学習し、知識を広げよう！



興味があることから発展した学習を行うなどして、家庭学習を主体的にしていきましょう。

ハンドブックの趣旨説明

本書は、子どもたち一人一人に確かな学力を着実に身につけさせるために、どのように家庭学習に取り組んだらよいか、また、何をしたらよいのか、子どもたちにもわかりやすく説明した解説書です。

★ここがポイント！

学力を定着させるために、家庭の学習環境を整えましょう。

基礎学力を定着させ、「学力」を育てるためには、学校での授業だけでなく、家庭での学習習慣が大きな役割を果たします。学校では子どもたちの主体的な学びを育て、学び方を身に付けさせます。家庭では子どもたちの基本的な生活習慣を確立し、決まった場所で一定の時間、学習に取り組ませることが大切です。

- 学習をする時はテレビを消して、学習をする場の整理整頓をし、集中できる環境を整えましょう。
- 毎日の生活習慣を見直し、学習をする場所や時間、テレビを見る時間やゲームをする時間などを決めましょう。

子どもの家庭学習を見守り、励ましましょう。

「自ら学ぶ子どもたち」を育てるために、子どもたちが一番安心できる家庭で、安定した生活リズムの中、毎日継続して学習に取り組むことはとても重要なことです。

- 高学年では、与えられる勉強だけでなく、授業の復習や予習、自主学習などの習慣を身に付けさせましょう。
- 中学生では、定期考査を節目に、勉強を進めることができるように学習習慣を身に付けさせましょう。

家庭でしっかり子どもの家庭学習を見守り、励ましてください。



子どもの学習を支えるポイント

朝、太陽の光を浴びて
すっきり起きれば、脳の
生体時計が調整され、気
分が穏やかになります。



早ね・早起き・朝ごはん
**体調良好・
イライラ感減少**



全国学力・学習状況調査の分析によ
ると、朝食を食べる習慣がある児童生徒
の方がそうでない児童生徒より正答率
が高いことがわかっています。



おなかもちよい、朝ごはんが食
べられます。すると、寝ている間
に下がった体温が上がり、勉強
に集中できる体になります。排
便もスムーズになります。

★ここがポイント！

テレビやゲーム、ケータイのルールを作りましょう！

ゲームなどをしすぎると、ゲーム脳(物事にキレやすく、時間感覚が欠落し、物忘れが激しくなるなどの症状)になる危険性が高まります。そこで、「夜10時になったら、ケータイの電源を切る」、「テレビやゲームは1日1時間以内」などルール作りが必要になります。ルールを作ったら親子で守りましょう。大切なのは「ルールを守る力」をつけることです。



子どもの自発性を見守り、認めましょう！

子どもの心と体の健やかな成長のためには、規則正しい生活習慣が大切です。生活習慣の乱れは学習意欲、体力、気力の低下の要因です。家族全員で生活を見直し、子ども自身の「自分のことは自分です」という自発性を育てましょう。子どもがやり始めた時は機を逃さずに認め、「頑張ってるね。」の言葉で、自発的な行動をほめてあげることがコツです。

育 て た い

子 ど も 像

人として大切な心と21世紀の社会を生き抜く力を持ち
ふるさと“ぶぜん”を愛する子ども

○自分の命、他の人の命を大切にする子ども

○21世紀の社会を生き抜く、確かな力を持つ子ども

○ふるさと“ぶぜん”を知り、大切にする子ども

ぶぜんっ子を育てる大人7か条！

☆子育ては、「誉めよう、叱ろう、見守ろう、抱きしめよう」

子育ては、愛情をたっぷり注ぎましょう。時には厳しさも必要です。

☆声かけ合おう「おはよう」「ありがとう」「ごめんなさい」

大人から気持ちのよいあいさつ、素直な気持ちを伝えましょう。

☆いつもあたたかく見守ろう チャレンジ精神

子どもは、認められた喜びや自信が次への意欲となります。

☆大切にしよう「なぜ」「どうして」のつぶやき

子どもの学ぼうとする意欲を応援しましょう。

☆伝えよう ふるさと“ぶぜん”の特色やよさ

ふるさと“ぶぜん”の誇りを次の世代に伝えましょう。

☆声かけよう 地域の宝 子どもたち

子どもは地域の中で育つもの。遠慮せず、みんなで声かけをしましょう。

☆語り合おう 子どもと目標と夢を

「夢をもつ」「実現しようがんばる」ことは、次への一歩です。

もっと、もっとチャレンジ！！

豊前市教育委員会

ぶぜん9年ナビへ
GO！



- ★家庭学習のポイント(小1～中3)
- ★自主学習おすすめコーナー
- ★タブレット等を使うルールについて
- ★おすすめのノート(小1～中3)
- ★自分の住む豊前市について知ろう

★お家での一人学習に
便利なサイトの紹介コー
ナーです。QRコードを
読み取ってみましょう。



文部科学省



- ★学校の教科を学ぶ
- ★わくわくサイエンス
- ★子どもの学び応援リンク



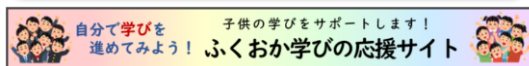
福岡県教育委員会

臨時休業中の子供たちの家庭学
習・生活サポート資料集

- ★学習サポート情報
- ★家庭学習サポート
- ★生活場面で役立つ資料



福岡県教育センター



- ★学びのサポート資料
- ★学習支援サイト



			名 前
小5年	組	番	
小6年	組	番	
中1年	組	番	
中2年	組	番	
中3年	組	番	